

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

外山滋比古『ユーモアのレッスン』の一節

(三) 次の文は「あ」から「え」のいずれかに入ります。最もあてはまる場所を記号で答えなさい。

ことばの読みちがい、ことに仮名の誤読がたくまざるユーモアになることは、これに限ったことではない。

(四) 胸をつかれる思いがしたとはどのような感情ですか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 怒り イ 驚き ウ 悲しみ エ 苦しみ

(五) 記号④に当てはまる語句として、最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア きよとん イ にこにこ
ウ びくびく エ むすつ

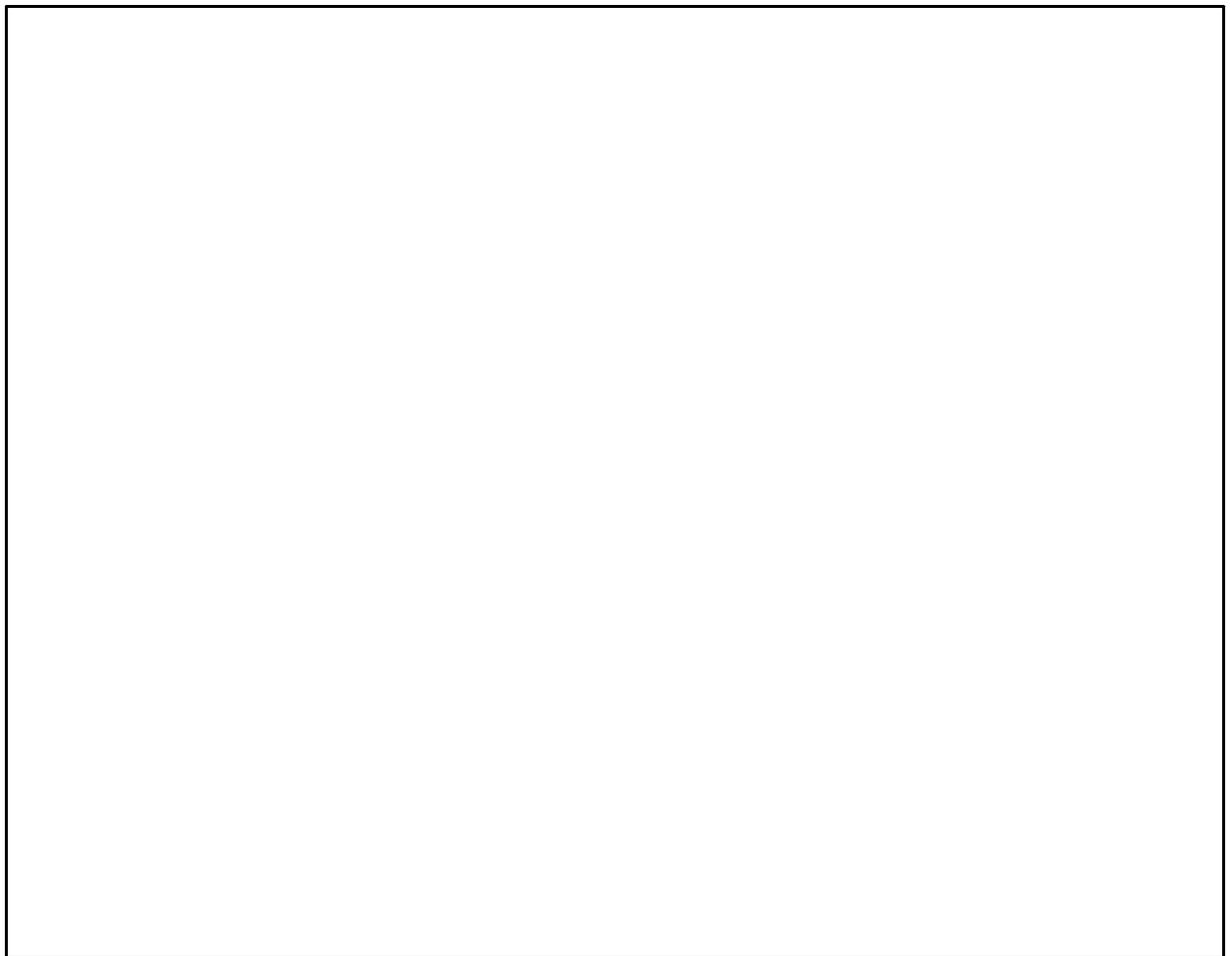
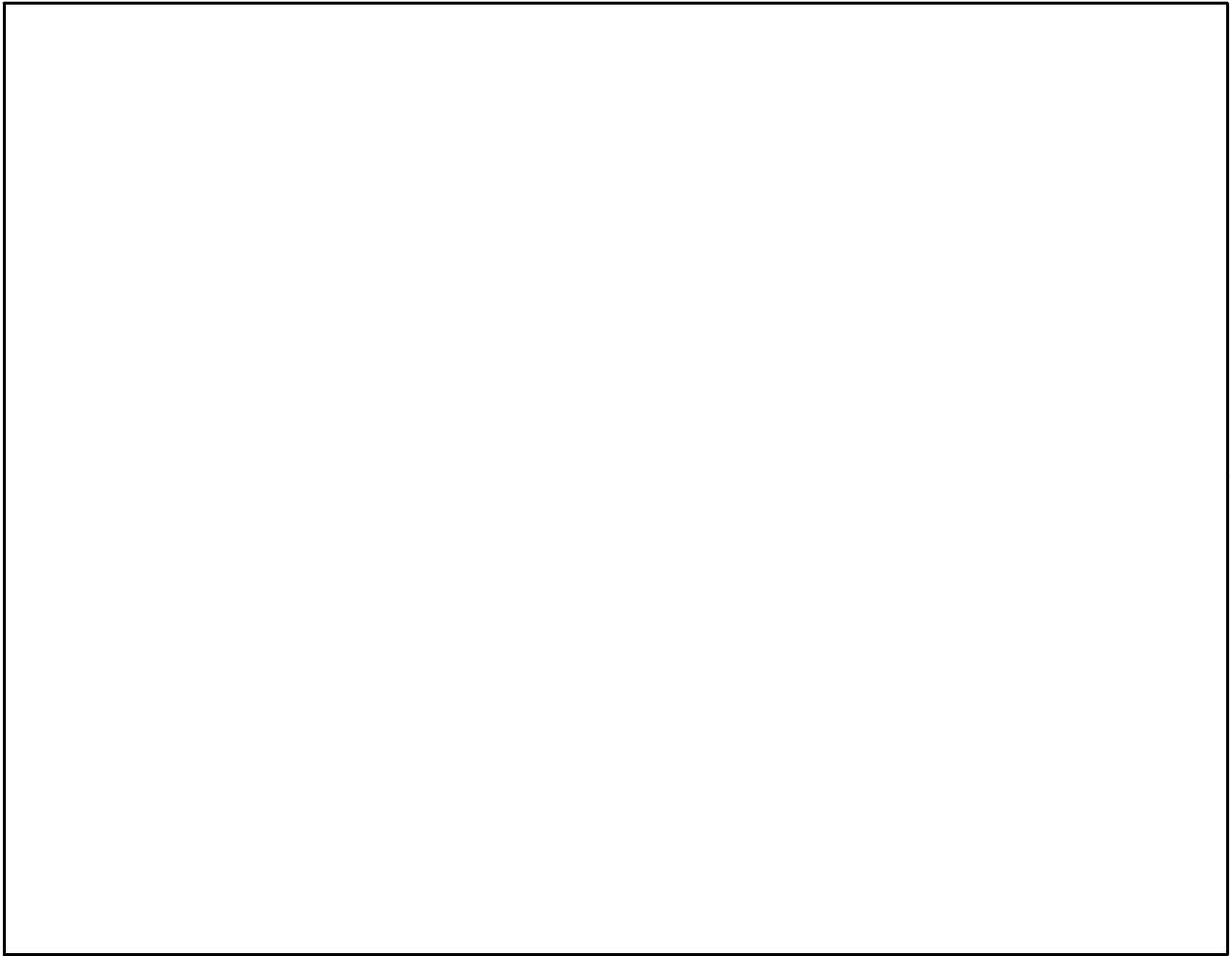
(六) 記号⑤に当てはまる、こどもが習字作品で主張したかったことを漢字を使って答えなさい。

(一) 同音異義のことばとありますが、本文に出てくる同音異義語以外で、あなたが知っている同音異義語を一組、それぞれ二字熟語で答えなさい。

(二) 大笑いをしたとありますが、それはなぜですか。説明しなさい。

二
次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

宮沢賢治『グスコーブドリの伝記』の一節



(一) 作者である宮沢賢治の作品を次から選び、記号で答えなさい。

ア 人間失格 イ トロッコ

ウ 風の又三郎 エ 坊っちゃん

(二) 恐ろしい① という表現をするのはなぜですか。その理由として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア イーハトーヴは暖かな地域なので、寒いには慣れていないから。

イ イーハトーヴはもともと寒い地域なので、また冬になることが嫌だから。

ウ イーハトーヴは戦争によって焼け野原になり、住む家もなくなり寒いから。

エ イーハトーヴは冷害に遭ったことがあるので、その時の寒さを忘れていないから。

(三) 生きたそらもありません② から、みんなのどのような気持ちかわかりますか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 生きた心地がしない。

イ 生きている理由がない。

ウ 晴れ晴れとした空ではない。

エ 安心できない気持ちではない。

(四) ブドリはもういても立ってもいられませんが③ とありますが、それはなぜですか。説明しなさい。

(五) 首をたれて④ から、老技師のどのような気持ちかわかりますか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア あきれて イ がっかりして

ウ 楽しみにして エ はずかしくて

(六) グスコーブドリは最後に何をしたのでしょうか。五十字以内で説明しなさい。

三 次の各問いに答えなさい。

(一) 次の――線部の漢字はひらがなで読みを書き、カタカナは漢字に直して答えなさい。

- ① 姿勢を正す。
- ② リーダーとしてチームを率いる。
- ③ 学校の調理実習はとても楽しみだ。
- ④ 学級委員にシメイする。
- ⑤ アンズより産むが易し
- ⑥ 席替えで座席が廊下側から窓側にウツった。

(二) 次の①から④のことわざ、慣用句の意味として、最も適当なものをあとのアからカの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。ただし、同じ記号を二回以上答えてはいけません。

- ① 塵も積もれば山となる
 - ② 豆腐にかすがい
 - ③ 目を光らす
 - ④ 割を食う
- ア 損をする。
- イ 全く根拠がない。でたらめ。
- ウ 何の効果も反応もないことのとたとえ。
- エ 不正などが無いように、注意して見張る。
- オ よそ見をせず、ひたすら一つのこと集中する。
- カ 小さなことでも継続すれば大きなものとなる。だから小さなこともおろそかにするべきではない。

